

令和 6 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K19703

研究課題名（和文）ミャンマーにおける高齢者にやさしい地域づくりと新たな認知症評価手法の開発

研究課題名（英文）Development of dementia assessment scale and age-friendly environments in Myanmar

研究代表者

SAW YUMON (SAW, YUMON)

東京大学・大学院医学系研究科（医学部）・客員研究員

研究者番号：20737788

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000 円

研究成果の概要（和文）：低所得国や中所得国においては、認知症の増加が急激に進んでおり、2050年には約1億3150万人に達すると推定されています。しかしながら、これらの国々では、低コストで持続可能な認知症の診断や予防方法の開発が喫緊の課題となっています。本研究では、ミャンマー国内のネピドー、ロイコー、ヤンゴンの60歳以上の高齢者を対象にフィールド調査を行いました。本研究で757人の研究参加者について解析を行った結果、約29.9%が認知機能の低下を認めました。また、認知機能の低下に関連した因子を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ミャンマーにおいて、認知症や高齢者の健康状態に関する研究は非常に限られており、ミャンマー語版の認知機能評価方法とそのマニュアルを開発したことは大きな学術的意義をもつ。また、高齢者の健康状態、クオリティ・オブ・ライフ、認知機能の低下に関連する因子として、年齢の高さ、教育の低さ、被扶養者であること、自覚症状の有無などが明らかになった。これらの因子を認知機能評価に組み込むことを、保健医療サービスや政策制定者に推奨することは、社会的にも大きな意義があるといえる。

研究成果の概要（英文）：The elderly population with impaired cognitive function is increasing worldwide and is estimated to reach 131.5 million by 2050. Amid prolonged life expectancy in Asia, the aged population with cognitive impairment, such as dementia, is estimated to be 22.85 million out of 485.83 million elderly aged 60 years or older. However, few studies have been performed on cognitive function assessment among the elderly in Asia, especially in Myanmar. Therefore, the present study aimed to identify the prevalence of cognitive impairment and related comorbidities among Myanmar's elderly population. This study published four peer-reviewed papers to provide resources and evidence on elderly health situations, nutrition status, and the rate of cognitive impairment by gender, prompting actions from governments and policymakers to implement impactful health services for the elderly.

研究分野：公衆衛生学、地域保健、国際保健

キーワード：認知機能障害 ミャンマー 高齢化 高齢者の健康

1 . 研究開始当初の背景

低・中所得国における認知症の増加は爆発的で、2050 年には1億 3150 万人に達すると推計されている。しかしそれらの国では、経済的資源、医療介護資源が極めて限定されていることに加え、認知症の診断率は 10%以下といわれており、低コストで持続可能な診断を開発する必要がある。ミャンマー国は 1950 年と 2010 年に比べ 2014 年には高齢化が進行しており、高齢化率・高齢化速度・平均寿命はいずれも年々増加すると推定される。しかしながら、ミャンマーにおいて、認知症や高齢者の健康状態に関する研究は非常に限られている。また、高齢者等の医療制度に関する適切な情報・サポート事業、健康長寿社会づくり等の事業・政策が何れも欠けている。高齢化が進行するミャンマーにおいて、認知症や高齢者の健康状態やミャンマー語版の認知機能評価方法の開発する必要がある。

2 . 研究の目的

ミャンマーにおいて、認知症や高齢者の健康状態に関する研究は非常に限られており、本研究では 1)認知症や高齢者の健康状態を明らかにする 2)ミャンマー語版の認知機能評価方法を開発する 3)全国的な高齢者等にやさしい地域づくりの取組に関する施策及び予防方法を開発することを目的とする。

3 . 研究の方法

本研究では、ミャンマー国内のネピドー、ロイコー、ヤンゴンの60歳以上の高齢者を対象に、改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)ミャンマー語版、簡易栄養状態評価(Mini Nutritional Assessment)、クオリティ・オブ・ライフ(WHOQOL-BREF)を用いた認知症の罹患率および高齢者の健康状態に関するフィールド調査を行った。また、高齢者の健康状態として、アンケート形式での情報収集に加え、身体測定、握力測定、10メートル歩行テスト、随時血糖値測定を実施した。

4 . 研究成果

本研究は認知症や高齢者の健康状態についてミャンマー国内のネピドー、ロイコー、ヤンゴンの 60 歳以上の高齢者を対象に改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)ミャンマー語版、簡易栄養状態評価(Mini Nutritional Assessment)、クオリティ・オブ・ライフ(WHOQOL-BREF)を用いた認知症の罹患率および高齢者の健康状態に関するフィールド調査を行った。また、高齢者の健康

状態としてアンケート形式での情報収集に加え、身体測定、握力測定、10メートル歩行テスト、随時血糖値測定を行った。横断的研究で757人の研究参加者について解析を行った結果、約29.9%が認知機能の低下を認めた。認知機能の低下に関連した因子として、年齢の高さ、教育の低さ、被扶養者であること、自覚症状があると答えたことが明らかにした。

以上より、研究結果をまとめ、現在4本の論文を査読付き国際ジャーナルに投稿し、発表した。現在、高齢者の主観的健康感に関する論文は投稿準備段階であり、査読付き国際ジャーナルに投稿する予定である。また、握力測定、10メートル歩行テストのフィールド調査のデータの解析を行い研究結果を論文にまとめ、国際ジャーナルに投稿する予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 5件／うち国際共著 5件／うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 Cho Su Myat, Saw Yu Mon, Saw Thu Nandar, Than Thet Mon, Khaing Moe, Khine Aye Thazin, Kariya Tetsuyoshi, Soe Pa Pa, Oo San, Hamajima Nobuyuki	4. 巻 11
2. 論文標題 Prevalence and risk factors of anxiety and depression among the community-dwelling elderly in Nay Pyi Taw Union Territory, Myanmar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 435-450
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s41598-021-88621-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Saw Yu Mon, Saw Thu Nandar, Than Thet Mon, Khaing Moe, Soe Pa Pa, Oo San, Cho Su Myat, Win Ei Mon, Mon Aye Myat, Fuchita Etsuko, Kariya Tetsuyoshi, Iriyama Shigemi, Hamajima Nobuyuki	4. 巻 15
2. 論文標題 Cognitive impairment and its risk factors among Myanmar elderly using the Revised Hasegawa's Dementia Scale: A cross-sectional study in Nay Pyi Taw, Myanmar	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0236656
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1371/journal.pone.0236656	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Noe May Thet Nu, Saw Yu Mon, Saw Thu Nandar, Kyaw Yoon Pwint, Zin Poe Ei, Cho Su Myat, Kariya Tetsuyoshi, Yamamoto Eiko, Win Hla Hla, Wann Tin, Hamajima Nobuyuki	4. 巻 79-80
2. 論文標題 Assessment of nutritional status and risk factors for malnutrition among the elderly in Loikaw, Myanmar	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nutrition	6. 最初と最後の頁 110933 ~ 110933
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.nut.2020.110933	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zin Poe Ei, Saw Yu Mon, Saw Thu Nandar, Cho Su Myat, Hlaing Su Su, Noe May Thet Nu, Kariya Tetsuyoshi, Yamamoto Eiko, Lwin Kay Thi, Win Hla Hla, Hamajima Nobuyuki	4. 巻 15
2. 論文標題 Assessment of quality of life among elderly in urban and peri-urban areas, Yangon Region, Myanmar	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0241211
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1371/journal.pone.0241211	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Cho Su Myat, Saw Yu Mon, Saw Thu Nandar, Than Thet Mon, Khaing Moe, Khine Aye Thazin, Kariya Tetsuyoshi, Soe Pa Pa, Oo San, Hamajima Nobuyuki	4. 巻 11
2. 論文標題 Prevalence and risk factors of anxiety and depression among the community-dwelling elderly in Nay Pyi Taw Union Territory, Myanmar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 9763
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-88621-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------